

復興に向けて必要なこととは何か、寺谷様の分析を読み全くそのとおりだと思いました。住民自らが復興計画にかかわっていかねばならないことを見事に論証されています。専門家はたしかに大切ですが、住むところを失った住民の方々は更に尊重されるべきです。

震災で被害を受けたみなさまは、いったいどのようにして苦難を乗り越えられるのでしょうか？わが身に置き換え、私の家族が我が家を失ったら…と考えます。自分のものでありながら、この土地に二度と住めないとしたら、母から受けついでベッドで眠ることも、何世代にもわたって家族のものだったテーブルを囲むこともかなわないとしたら…？たしかに、経済的にも大きな痛手ですが、心が負う痛手はそれをはるかに超えるものです。

日本人が逆境にあってもしなやかに乗り切る民族であることはよく知られていますが、中には長い期間、支えを必要とする方もいらっしゃることでしょう。精神的な強さにも個人差があるのです。

被災されたすべての方々が、復興に主体的に取り組み、未来への計画すべてにかかわっていけるようにすることが必要です。それこそが、過去と未来をつなぐ最善の方法なのですから。